



Les Clefs d'Or Japan

レ・クレドールジャパン会報誌 “キー・ニュース”

Key News



2016年6月 第19号

インターナショナルコンGRESS2016開催 日本から5名が出席

レ・クレドールメンバー参加者 (敬称略)
 田嶋益美 (マンダリンオリエンタル東京)
 今泉愛子 (グランドハイアット東京)
 川村一司 (パレスホテル東京)
 田中あかね (ザ・ペニンシュラ東京)
 浜崎統 (ホテルオークラ東京)



4月10日～4月15日に第63回 UICH レ・クレドール国際年次総会が、アラブ首長国連邦のドバイで開催されました。日本からは5名が参加して参りました。砂漠の国に降り立ったのは始めてだったので、着陸時に飛行機から見た、砂の中に現れた滑走路にはちょっとした驚きでした。年間で5～6回しか雨が降らない国らしく、到着の初日から滞在中も素晴らしい天気にも恵まれました。今回の参加者数は、世界地図上における好立地のためか750名を超える大規模なものでした。



初日のレセプションは、アルマーニホテルの提供で世界一高い建物であるブルジュ・ハリファの足元で盛大な野外パーティにて開かれました。建物の窓に映しだされたグラフィックな照明、ラスベガスを彷彿とさせる音と噴水のショーには誰もが驚きを隠せませんでした。

2日目は市内観光でゴールド、スパイス市場を巡り、美術館を経てランチにはハラル料理をブッフスタイルで楽しみました。午後は豪華な観光船でプライベートクルーズ。

海の上から、ドバイらしい高層ビルが立ち並ぶ様子や、ハーバーの景色を堪能しました。夜はゴルフコースの野外会場でのディナー。我々はベリーダンスを鑑賞しながら、皆おそろいでヘナペインティングを描いてもらい、ちょっとしたローカル気分を満喫しました。

3日目は午前中からエデュケーショナルセミナーが開催され、コンシェルジュであること、更にレ・クレドールのコンシェルジュであることはどういうことなのか、英語を母国語としない者同士が円滑にコミュニケーションをとる為には何を気をつけるべきかについてのレクチャーを受けました。ここで今回の参加者の25%以上は初めて参加するメンバーであったことも発覚しました。

そしてこの夜は、125台(6人乗り)の四駆車で砂漠の山へサファリツアーと銘打ったアラビアンナイト。すばらしい夜空を眺めながら砂の上に敷いた絨毯に座り、伝統ダンス見ながら水パイプをくゆらし、ラクダや子羊の肉を堪能しました。

4日目は総会にて、2018年の開催場所が韓国に決定した旨、新しい国のメンバー入会への打診、そして、レ・クレドールアワードという若手



コンシェルジュ表彰の授賞式が行われました。この夜はアジアセクションでディナークルーズへ。

最終日は再びブルジュ・ハリファの452メートル地点にある展望台へ昇り、ドバイモールで買い物をした後、夜は人工島のパーム・ジュメイラの先端に立つ5つ星の豪華なホテル、アトランティス・ザ・パームにて1,000名を超えるガラパーティーへ出席しました。



そして、出発日にはなんと珍しく雨が降り、現地のスタッフとその希少な経験を分かち合いました。

(田中あかね)

サントリー登美の丘ワイナリー見学会

レ・クレドールメンバー9名が参加

レ・クレドールメンバー参加者 (敬称略)
 阿部佳 (グランドハイアット東京)
 阿部泰年 (マンダリンオリエンタル東京)
 今泉愛子 (グランドハイアット東京)
 尾崎カレン (アマン東京)
 川村一司 (パレスホテル東京)
 齋藤美紀 (ジャングリ・ラホテル東京)
 芝田尚子 (ザ・プリンスさくらタワー東京)
 住吉真矢子 (パレスホテル東京)
 東出江津子 (ザ・キャピトルホテル東急)



5月23日、「サントリー登美の丘ワイナリー研修ツアー」が開催されました。レ・クレドールジャパンメンバー9名を含む計19名が参加。

当日は雲ひとつない快晴に恵まれ、10時30分にバスで東京を出発致しました。13時30分に登美の丘ワイナリーに到着。同ワイナリーは100年以上の歴史があり、その敷地は150ヘクタール(東京ドーム35個分)。バスを降りると、その広大な景色に皆感動致しました。14時からセミナーがスタート。近年の日本ワインの人気ぶりや、各種ワインの特色を、どの様な食事に合うのかという事を踏まえて分かり易くご説明頂きました。登美の丘は昼夜の“温度差が大きい事”・“日照時間が長い事”・“雨が少ない事”という3つの理由から、ワイン造りには最高の環境であるそうです。その後、実際にぶどう畑の見学。150ヘクタールの敷地の中で、ぶどう畑はわずか25ヘクタール。ぶどうにとって良い場所を選びすぎり、畑を作っています。醸造エリアの見学をし、皆が最も楽しみにしていたテイスティングタイム!! 登美の丘ワイナリーを代表する5種のワインを飲み比べ、その香りと味の違いを美味しく勉強致しました。最後にお土産店の見学と、集合写真を撮り登美の丘ワイナリーを後に致しました。

今回のツアーはサントリー酒類株式会社様の多大なるご協力のもと、実施する事が出来ました。この場を借りて、心より御礼申し上げます。

(阿部泰年)